

病害虫発生予察注意報第2号

令和6年5月23日
三重県病害虫防除所

**果樹カメムシ類の誘殺数が増加しています
摘果後のナシでは袋掛けや薬剤防除を行ってください**

- 1 対象作物 : ナシ、ウメ、カキ等果樹類
- 2 対象病害虫名 : 果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ)
- 3 発生地域 : 県内全域
- 4 発生時期 : 5月中旬
- 5 発生量 : 多
- 6 注意報発令の根拠

(1) 予察灯 (畑・松阪市) における5月第4半旬の誘殺数は、チャバネアオカメムシでは816頭 (平年116頭)、ツヤアオカメムシでは118頭 (平年24頭) といずれも多い状況です (図1、図2)。

(2) フェロモントラップ (松阪市) における5月9~20日 (12日間) の誘殺数は、チャバネアオカメムシでは326頭 (平年5月9~24日 (16日間) 131頭)、ツヤアオカメムシでは45頭 (平年5月9~24日 (16日間) 13頭) といずれも多い状況です (図3、図4)。

(3) 一般園地では、ナシ、ウメ、カキ、カンキツの栽培園地で飛来が確認されています。

(4) 平年の越冬世代の予察灯 (畑・松阪市) への飛来ピークはチャバネアオカメムシで5月中旬~6月上旬頃、ツヤアオカメムシで6月中旬頃です。

(5) 気象庁の1か月予報 (5月16日発表) では、気温は高い見込みであり、果樹カメムシ類の活動が活発になる可能性があります。

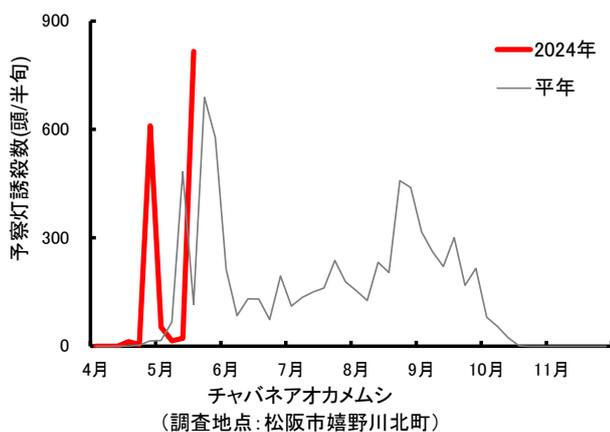


図1. 予察灯 (松阪) におけるチャバネアオカメムシ誘殺数推移

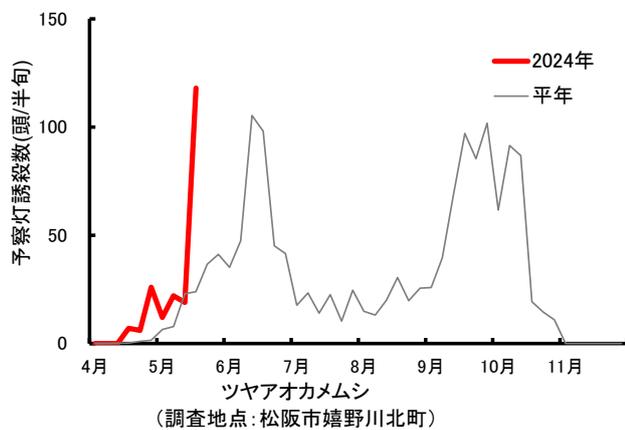


図2. 予察灯 (松阪) におけるツヤアオカメムシ誘殺数推移

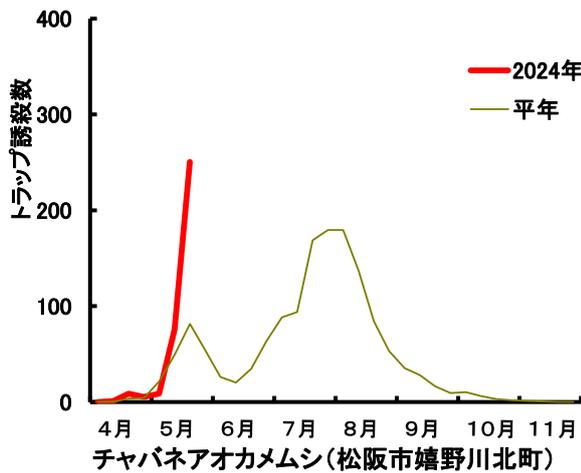


図3. フェロモントラップ（松阪）における
チャバネアオカメムシ誘殺数推移

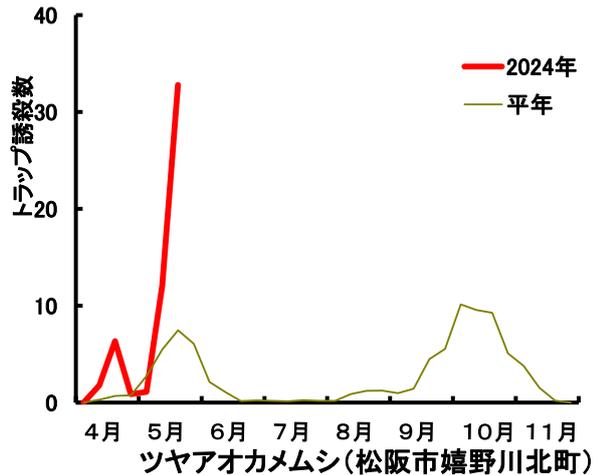


図4. フェロモントラップ（松阪）における
ツヤアオカメムシ誘殺数推移

7 防除の注意事項

- (1) 飛来数は、園地による差が大きい傾向があります。夜間の照明等への飛来を参考にし、園地を見回り、飛来を確認したら防除を行ってください。
- (2) 過去に飛来が多かった園地では特に注意してください。
- (3) 近隣園地と散布日を合わせるなど、広域で一斉防除すると効果が高くなります。
- (4) 有袋栽培を行っているナシでは、摘果後袋掛けを早期に実施してください。
- (5) ウメの防除では、収穫前日数に注意して散布を行ってください。
- (6) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布することで、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。薬剤は農薬情報検索システム、三重県農薬情報システムで調べることができます。

農薬情報検索システム：<https://pesticide.maff.go.jp/>

三重県農薬情報システム：

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/mie>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。